

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成27年度採択分）
「英文論文集の内容及び審査体制改善による国際的評価向上の取組」
（課題番号：15HP2022）

学術団体名：公益社団法人 日本船舶海洋工学会
学術刊行物の名称：Journal of Marine Science and Technology
事業期間：平成27年度～平成31年度

1 取組の概要

○取組内容の特徴と目的、意義および方法

本英文論文集は1995年創刊の、船舶工学、海洋工学、海洋環境工学等に関する総合国際英文ジャーナルである。海事工学の全分野をカバーする国際誌として、有力競合誌や後発の中国や韓国のジャーナルとの競争に打ち勝つため、基幹となる論文の招へいや特集号発行、オープンアクセス化（無料ダウンロード可能）などにより国際的発信力のさらなる強化を目指す。

○応募時に設定した取組の目標・評価指標

(1) 主要基幹論文の掲載

海事工学における国際標準や国際基準のベースとなるべき基幹論文を招へい掲載する。また海洋資源・エネルギーなど、社会的・学術的に関心の高いテーマの特集号を企画する。招へい論文はオープンアクセス化し、広く引用されるようにする。

目標： 基幹招へい論文：年3編、テーマ特集号：年1回

(2) 査読・編集体制の強化、国際化

編集企画評価委員会の開催、査読委員の評価、査読基準の明確化を行う。国際的評価を高めるため欧米の大学・研究機関からの編集委員、査読委員を増強する。

目標： 編集委員：50% 査読委員：60%

(3) 優秀論文投稿の奨励

優秀論文賞を設け、表彰し報奨金を授与する。優秀論文はオープンアクセス可能とし、広く国際発信する。英語を母国語としない投稿者のための英文校閲のサポート体制を充実する。

(4) 広報

本誌の認知度、周知強化のため、国内外の主要学会誌・技術誌に広報掲載を行う。

2 目標の達成状況

○現在までの目標の達成状況

(1) 基幹招へい論文は、H27年3編、H28年1編、H29年6編（予定）掲載しオープンアクセス化、テーマ特集号はH30年「最低出力ガイドライン作成法」特集号を出すべく準備中。

(2) 外国人編集委員、査読委員の割合は向上している。

編集委員：43.1% (H25) → 46.6% (H29)

査読委員：52.0% (H25) → 74.2% (H29)

(3) 優秀論文賞を、H28年1件、H29年1件授与した。受賞論文を受賞後にオープンアクセスに変更することは出版社事情で未完。

(4) 論文発信度の評価指標向上

投稿数：125 (H25) → 238 (H28)

インパクトファクター：0.718 (H25) → 0.838 (H28)

ダウンロード数：38,673件/年 (H25) → 51,988件/年 (H28)

○今後の計画

重点分野の基幹論文を今後も年3編程度を招へいする。査読委員ですすでに目標に達したため、今後は編集委員の外国人比率向上を目指す。受賞論文のオープンアクセス化を実現すべく出版社と協議を継続する。



